

(別紙)

福知山市の財政状況の改善を提案する決議

平成28年度一般会計の実質収支決算は、10億4890万円の黒字を達成したものの、市税・地方交付税（普通交付税）など経常一般財源の減少、及び経常経費の増大により、特に経常収支比率は6年連続で悪化し、96.8%に達した。

今後、市町村合併の特例期間満了に伴う普通交付税の段階的な削減により、市の財政状況は、益々危機的な状況になると予測される。

そこで、福知山市議会としては、平成28年度決算審査を通じて、今後は以下の点に特に留意して、平成30年度予算編成に反映させるとともに、より一層の行財政改革を行い、財政改善を推し進められるよう強く求める。

- 1 決算内容と第6次行政改革大綱の間に乖離が見られるなど、財政構造の弾力性が低下している。よって経常収支比率の段階的、かつ具体的な改善計画と改善数値を示し、中・長期目標を設定すること。
- 2 事業の削減及び統合等スリム化を進め、効率的な事業構成を図るとともに、市職員の超過勤務の削減に努め、ワーク・ライフ・バランスにも配慮した労働環境を整備すること。
- 3 e-ふくちやま事業など、将来にわたる計画が十分でなかった安易な事業展開が、大きな財政歳出を招いたことを顧み、特に大規模な投資的経費及び追加投資には慎重な検討を行い、市議会に対して丁寧な説明を行うこと。
- 4 歳出の縮減のみに偏らず、市内の産業・人材育成や雇用創出・若者定着の推進により地域経済の活性化を図り、市税の増収など歳入の確保に寄与する政策を推し進めるとともに、国に対しては地方財政計画を通じた財源保障の充実を求めることにより、財政力指数が高い安定した財源構成を目指すこと。

以上、決議する。

平成29年12月1日

福 知 山 市 議 会